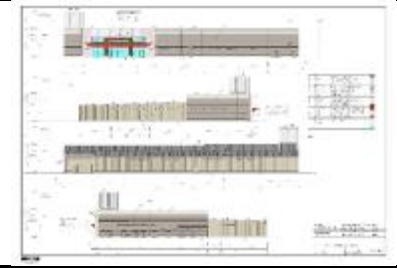


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)富田林複合施設(A棟)	階数	地上1F
建設地	大阪府富田林市大字彼方999-2の	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,640時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年6月11日
敷地面積	10,426 m ²	作成者	高島邦嘉
建築面積	4,132 m ²	確認日	2018年6月11日
延床面積	4,034 m ²	確認者	高島邦嘉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
本物件は、富田林市に計画される物販店舗である。節水器具や高効率機器の採用により、建物の使用エネルギー低減へ配慮した計画としている。		—
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・冬の室温設定について配慮している。 ・全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆の材料を使用している。	・空間の形状にゆとりを設け、自由さを確保している。 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。	・周囲の街並みに調和させている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率機器を採用し、敷地内のエネルギー使用量の削減に貢献している。	・節水器具を採用している。 ・内装材にリサイクル資材を使用している。	・燃焼設備の採用を避け、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0039

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)富田林複合施設(A棟)						
	建設地	富田林市大字彼方999-2の一部 他27筆						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.9	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							